

# 怒りの声!

## 千葉転支部組合員の

# 処分

**81ストなし春闘打破 4月決戦スリキカクム**

一昨日、政府・当局は、八一五五円(四・二三%)という今日の8%をこえた物価上昇率にも程遠い低額回答を提示しもってストライキをやめて、これに屈服せよと迫ってきた。われわれは、このような、賃金抑制、官民分断、ストなし策動をコナコナにうち砕くために、官民一体総ぐるみの闘いの高揚をつくりださなければならぬ。と同時に三月ジェット決戦でかちとった組織力、団結力をより強固にして反処分・秋山差別労政完全打倒を目指した長期非協力斗争を結合して、意気高く四月決戦ストへと前進しよう。

**こんなデタラメ処分を許せるか?**

危険だといわれるジェット燃料輸送を国策の名のもとに三年間の期限付で強制した上に、その約束を反古にした政府・国鉄当局が何んらかの責任をとるべきものであるにもかかわらず、逆にその責任を糾したわれわれに処分を行ってきた。こんなデタラメなことが許されていいだろうか。

燃料列車を動かし旅客は止めるということ自体国鉄当局がやったことではないか。乗客の意見が新聞にのっていった「ストも迷惑だが悪いのは、国と国鉄当局ではないのか」という意見だったが世間でも見ている人は見ているのだなと思った。

— 46才 電運士 —

**秋山光文は首切り局長だ!**

三月六日、不当処分の現場長抗議交渉にいて驚いた。現場当局が処分内容について説明することができないのだ。「局長の命令だからどうしようもない」というばかり、組合員の「こんな処分をだして現場の労使関係がうまくいくと思うのか」との声を聞くと、とんでもない局長を上司にもった現場が一番苦勞だと思う。しかし、秋山局長になつてから千葉運転区支部で四人も解雇された。これは秋山が動労千葉つぶしを目的にきたことは明らかだ。全国鉄的な処分内容を見ても、動労千

葉がいると国鉄「再建」をする上でとんでもないことになる。だから何んとしてもつぶさなくてはという国鉄当局の姿勢をみてとることが出来る。

こんな処分は、布施君の処分同様許すことはできない。裁判斗争となる長期になるし、反動司法のもとでの闘いなので激しいと思うが、頑張つてやってみよう。

— 45才 電運士 —

**動労「本部」は鉄労以下だ!**

今回の処分ほど頭にきたものはない。(期限延長問題で)社会党や総評はあんなもので頼りにならないが足を引張らないでください。しかし、普段口を開けば「社共や総評をのりこえ」などと批判ばかりし左翼づらをした動労「本部」の連中がやってきたことは鉄労以下ではないか。カラーテレビ、単手、カサをとったから組合員の利益を守ったなどとあきれたことを言っている。

だったら(動労東京地本が)乗務員運用合理化を早くのんだことは利益を守ることもなのか、東京の乗務員は仕事ができなくなったとこぼしているのが現実だ。

202億円の期限延長と取引さしようとした労組などがでたり今回ほど汚なくみにくい面をみせつけられたことはない。

— 34才 電運士 —